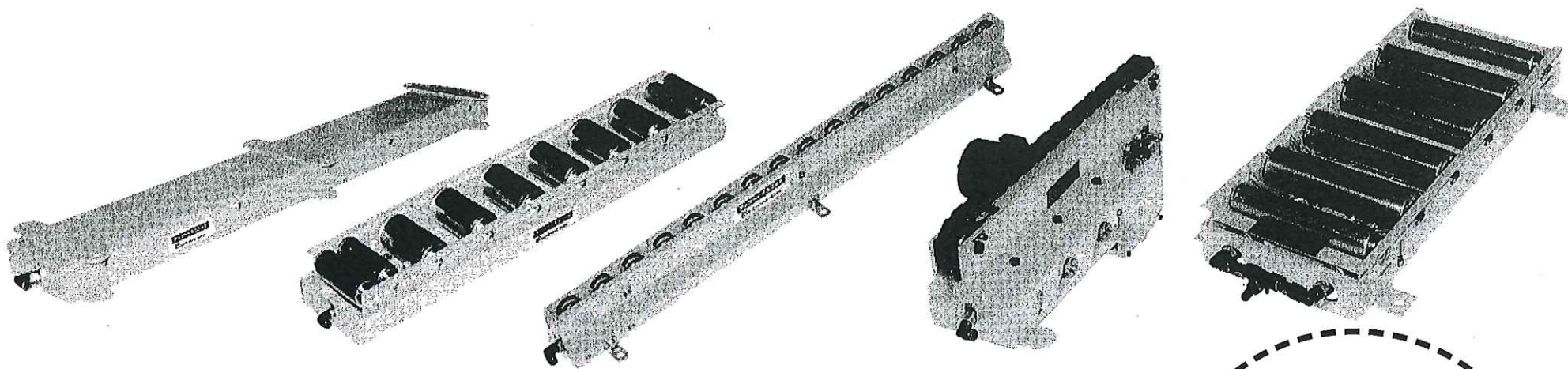


アップベースユニット取扱説明書

アップベース、アップローラ、アップホイール、アップボール、
アップベースドライブ



ご採用いただき
誠にありがとうございました。

- 本取扱説明書は取扱責任者、
保守管理責任者が確認できる
場所に保管して下さい。



人と物流の調和を考える

セントラルコンバーター株式会社

このたびは「**アップベースユニット**」をご採用いただき誠にありがとうございました。

- アップベースユニットをご使用いただく前に必ず本書をお読みください。
- 内容を十分ご理解の上正しくお取り扱いください。
- 本取扱説明書は大切に保管してください。

目 次

.....

・アップベースユニット(各型式共通)ご使用上のお願い 2~3ページ
・ご使用時の注意事項	
・エアーホース保護のための注意事項	
・使用エアーについて	
・上昇、下降スピード調整	
・エアー回路について	
・据付、取付方法 4~5
・ホース交換手順(アップベースユニット) 6~7
・ホース交換手順(分解不要型アップベースユニット) 8
・ドライブ付アップベースユニット点検、メンテナンス 9~10
・メーカー連絡先 裏表紙

アップベースユニット(各型式共通)ご使用上のお願い

ご使用上の注意事項 下記事項が設計上において考慮されているかご確認の上対策を施してください。

- アップベースユニットを2台以上同時に使用するときは、積載装置自体をひとつの合体構造となるよう(連結ステーの取付等)設計をしてください。
- 許容荷重値以内でご使用ください。また、偏荷重がかかる使い方は避けてください。
- ロングエルボコネクタはエアーの出入時上下、左右(詳細寸法はカタログ参照)に動きますので、他の機器と干渉しないように自由に首振りさせてください。
- ローラタイプ、ホイールタイプで極端な集中荷重がかからないようご注意ください。
(ローラ、又ホイールの許容荷重以内に抑える)
- 水平な設置以外でのご使用は避けてください。
- 片荷、集中荷重、はみ出し荷重等極端な集中荷重及び偏荷重がかかるご使用は避けてください。

エアーホース保護のための注意事項

- エアーホース保護のため火気にご注意ください → 本体に溶接は避けてください。
- 本体に溶接する場合のご注意 → やむを得ず溶接するときは、必ずホースを外してから行ってください。
→ アースを下記の方法で取ってください。
特に平行上下式(平行リンクタイプ)アップベース、アップローラにブラケット等の部品を溶接する場合、リンク部品同士でショートする恐れがありますからご注意ください。
① 上昇フレーム側に溶接するときは、上昇フレーム側にアースを取ってください。
② 固定ベース側に溶接するときは、固定ベース側にアースを取ってください。
- 本体面溶接不可能箇所 → ホースが内蔵されるフレーム面には溶接加工、及び部品取付は避けてください。
- 追加工上のご注意 → 本体内へ貫通する穴加工は避けてください。
- 使用雰囲気温度 → 60℃以下でご使用ください。

アップベースユニット(各型式共通)ご使用上のお願い

使用エアールについて

- エアールは一般工場用で可能ですが、(3点セット不要。但し電磁弁制御時は取付)化学薬品、有機溶剤を含有する合成油、腐食性ガス等を含む時はホースの劣化及び破損の原因となりますのでご使用は避けてください。
- 数本のアップベースユニットを同時に使用する場合はエアール消費量にご注意ください。
(エアール量不足の時はエアールサブタンクを追加)
- 2ページのご使用上の注意事項を確認の上、適切にご使用ください。

上昇、下降スピード調整

- 下降スピードを早くしたい時 → 下降は自重下降のため、下降スピードを早くしたいときは急速排気弁を取り付けるか、排気抵抗を少なくしてください。
- 偏荷重時調整(バランスウエイト) → 偏荷重時、よりスムーズに作動させたいときは、積載装置全体の重量のバランスをとってください。(例、モータ位置と対称なところにウエイトをかける)
- 上昇スピードを早くしたい時 → 圧力を上げる(圧力一定のとき、荷重が大きいほど上昇時間は遅くなるが、圧力を上げると荷重が増えても上昇時間は早くなる。) → 配管抵抗を小さくする(ホース径を太くする。スピコン、急速排気弁等をつけない。配管部品を少なくする等。) → 必要エアール量より大きな流量の配管をアップベースユニットに極力近い所まで配管してください。

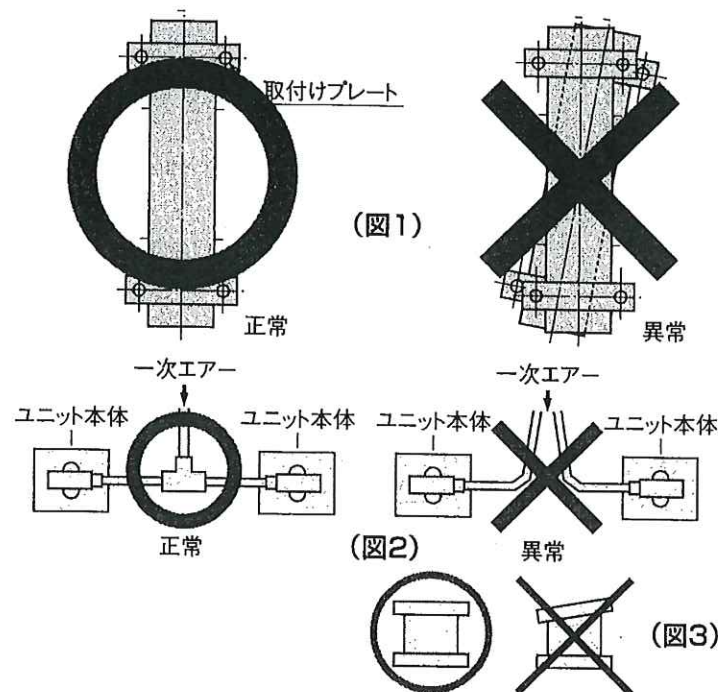
エアール回路について

- アップベースユニットを単列使用、復列使用、復列使用連結一体化のエアール回路については、特別の回路の必要性はありませんが、回路図を必要の場合は弊社に問合せください。
- 万一復列使用時に偏荷重でご使用の場合は上昇用スピードコントローラと下降には調整式の急速排気弁又はスピードエキゾーストコントローラ等を必ずつけてください。

据付、取付方法

据付、取付上のご注意事項

- アップベースユニット本体を設置するときは上フレームと下フレームが平行になるように取付けてください。(図1)
- エア配管施工時は配管方法にご注意ください。(図2)
- アップベースユニット本体を設置するとき断面方向で見た時水平になるように取付けてください。(図3)
- 無理に取付け穴を合わせないでください。
- 取付けた状態での溶接作業は絶対に行わないでください。
- 仮締めにて数回作動後動きがスムーズであることを確認した後ボルトを本締めしてください。

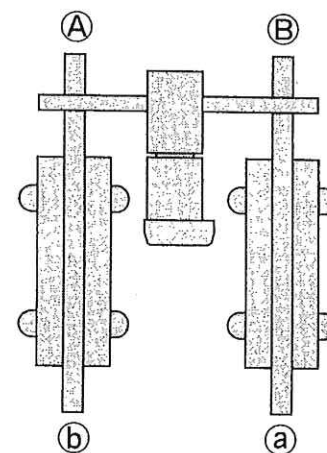


アップベースドライブユニットの取付について

- 水平度及び対角寸法の調整を必ず行う必要があります。水平度及び対角寸法が適正に出ていない場合、異音の発生又は昇降がスムーズにいかない場合があります。
- 昇降時のエア調整について、無負荷時と積載時と両方流量調整を行う必要があります。

水平度
 (A) - (B)
 (b) - (a)
 (B) - (a)
 (A) - (b)

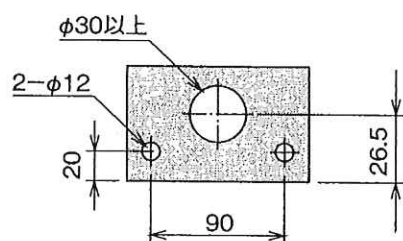
対角寸法
 (A) - (a)
 (B) - (b)



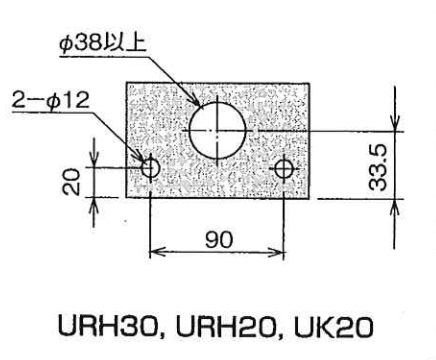
取付方法

アップローラ・アップホイールのローラコンベヤへの取付方法

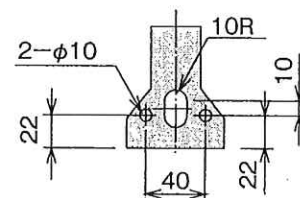
- アップローラ・アップホイールは各コンベヤメーカーのローラコンベヤに取付が可能な共通仕様になっております。本体にタップ加工をしてありますが、アップローラ・アップホイール本体とローラコンベヤフレームとの隙間があるときは必ずライナーを入れて、ボルト止めしてください。
- アップローラ・アップホイールをローラコンベヤ内に内蔵する時はエアー供給口のロングエルボコネクターが首振りしますのでローラコンベヤフレームを長穴加工するか又はキリ穴の加工を下図にしたがって行ってください。



UR20

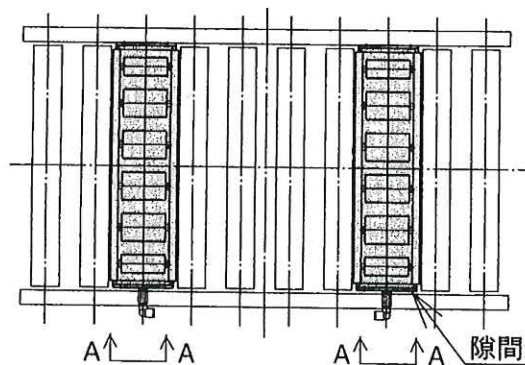


URH30, URH20, UK20

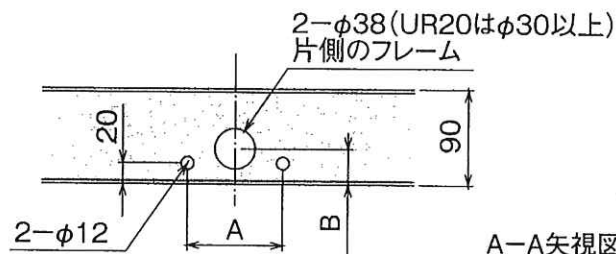


UW20

アップローラ取付状態



隙間があるときはライナーを入れる。



A-A矢視図

※A、B寸法は上記機種別寸法による。

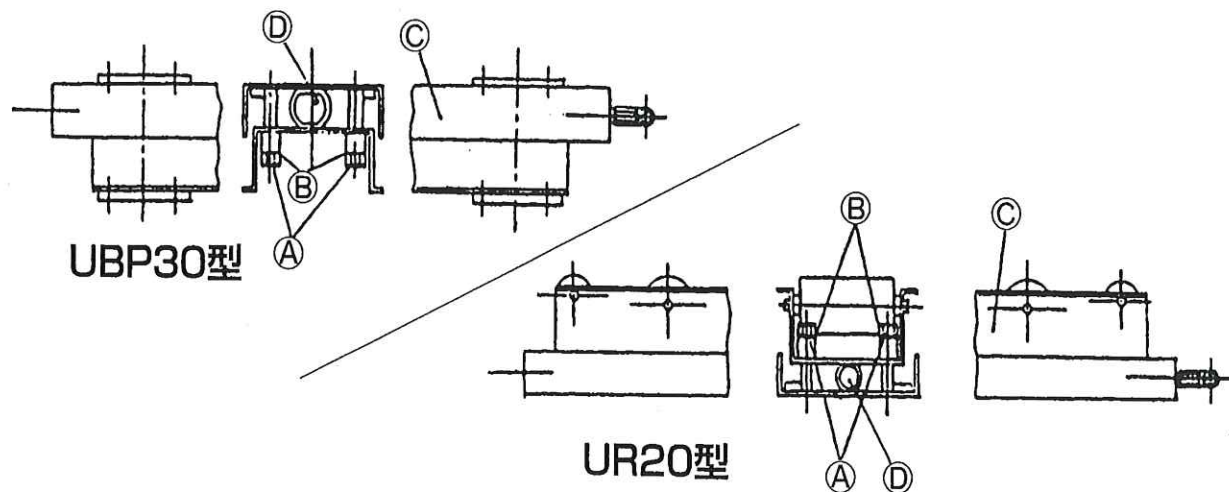
ホース交換手順(アップベースユニット)

内蔵ホースは消耗品となっております。エアーもれが発生しましたら、すみやかに交換してください。

センターガイドピン方式

型式 アップベース UBP30
アップローラ UR20

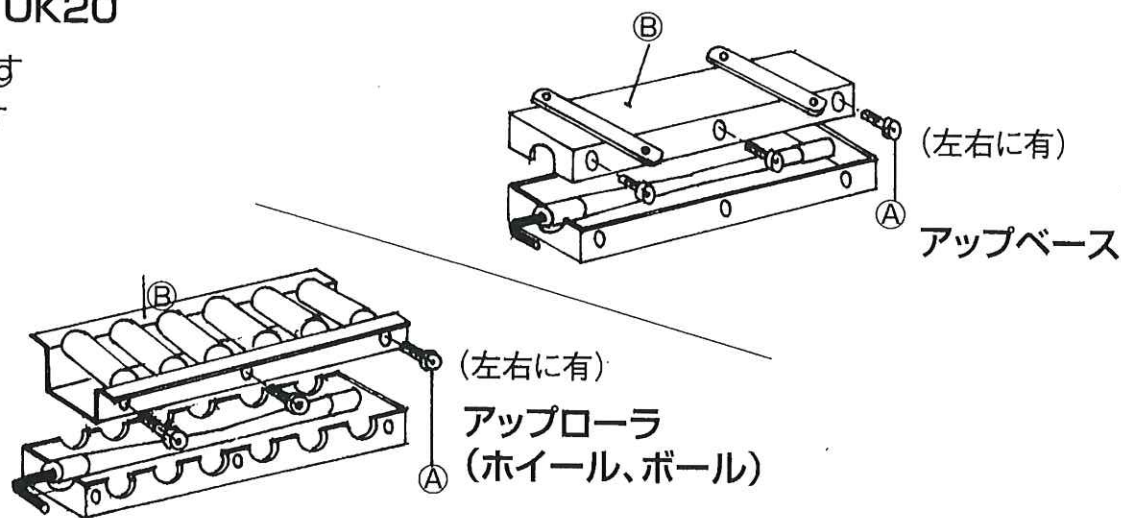
- 手順 1) ①ナットをはずす
2) ③フレームを取りはずす
3) ④ホースをはずす
4) ホースを入れ替える
5) ピン回りをグリースアップする
6) ③フレームをセットする
7) ①ナットを締める



サイドガイドピン方式

型式 アップベース UBM20. UBH20. UBWH20. UBT30. UBL30. UBS30. UBW30
アップローラ URH20. URM30. (ドライブ付 UHM30)
アップホイール(ボール) UW20. UK20

- 手順 1) ①サイドガイドピン全数を取りはずす
2) ②上部フレームを上方へ取りはずす
3) ホースを入れ替える
4) ②上部フレームをセットする
5) ①サイドガイドピン全数のネジ部にネジロック(接着剤)をつけて、強く締める。



ホース交換手順(アップベースユニット)

内蔵ホースは消耗品となっております。エアーもれが発生しましたら、すみやかに交換してください。

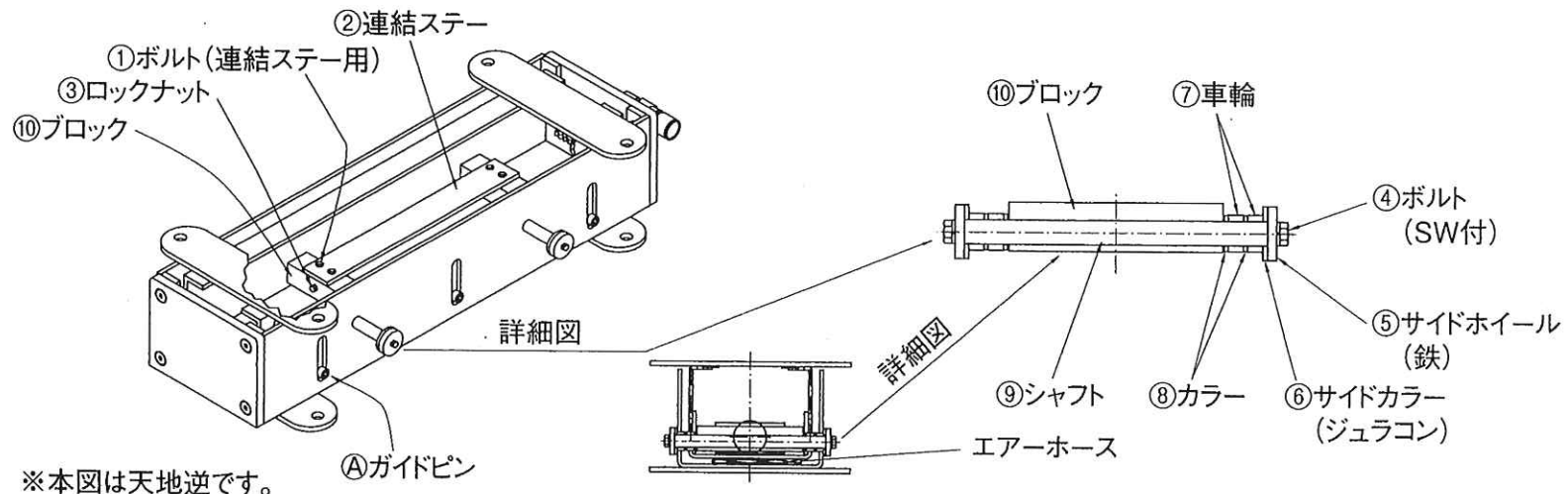
平行上下式、リンク機構内蔵方式

型式 アップベース UHB30. UHBW30. UHB45. UHBW45
アップローラ UHR30. UHRW30. UHR45
ドライブ付 UHM45. UDC30. UDC45. UDCC30. UDCC45

- 手順 1) ④ボルトを片側のみ外しますと⑤サイドホイール・⑥サイドカラー・⑦車輪・⑧カラー(厚)・⑦車輪・⑧カラー(薄)の順で外します。
- 2) 連結ステー用③ロックナットを解除したら先に外した⑤サイドホイール等の反対側から⑦車輪・⑧カラー等を⑨シャフトごと抜きます。
- 3) ⑩ブロック上の①ボルト(連結ステー用)を外します。
- 4) ④ガイドピンを全て外します。
- 5) これで分解終了です。
- 6) 再組み立ては1)・2)・3)・4)の順で組み付けしてください。

組み付け時、各ボルト類はネジロック(接着剤)を塗布して強く締めてください。

※作業時反対側のカラーホイール・車輪・ボルト等は外さない方が作業しやすく順番も分かり易くなります。



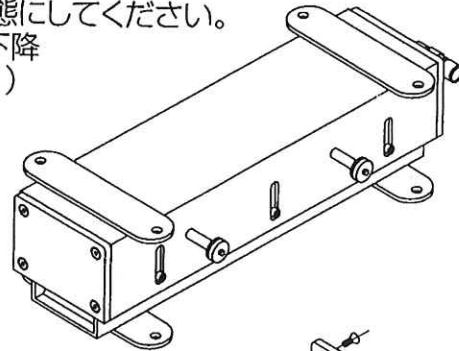
ホース交換手順(分解不要型アップベースユニット)

内蔵ホースは消耗品となっております。エアもれが発生しましたら、すみやかに交換してください。

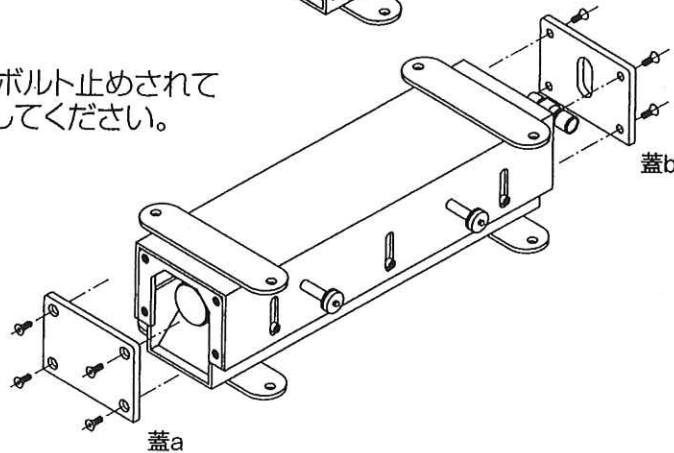
平行上下式、リンク機構内蔵方式 分解せずにホース交換可能です。

型式 アップベース UHB45. UHB30(2004年7月以降出荷分よりのもの)
UHBW30. UHBW45. UHR45(2005年9月以降出荷分よりのもの)

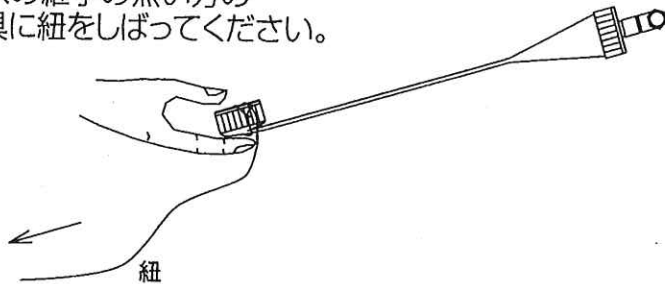
手順1) アップベースを上昇と同じ状態にしてください。
(ジャッキ、ホイスト等で絶対下降しない状態で保ってください。)



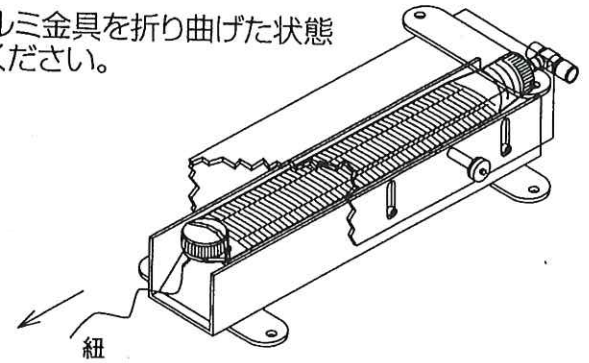
手順2) 本体前後のボルト止めされている蓋を外してください。



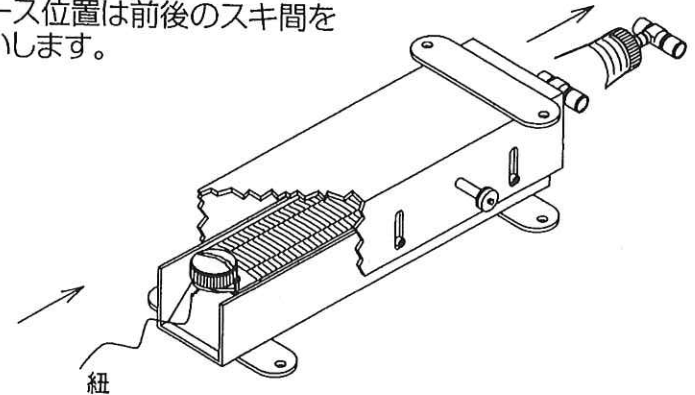
手順3) 内蔵ホースの継手の無い方のアルミ金具に紐をしぼってください。



手順4) 紐でしぼった側のアルミ金具を折り曲げた状態を保って引き出してください。



手順5) 本体後ろ側にしぼっている紐を新しいホースにしぼりつけ、手順4)のようにアルミ金具を折り曲げた状態でホースをアップベース本体に挿入してください。
その場合ホース位置は前後のスキ間を均等にお願いします。



手順6) 紐を外して前後の蓋a、bをボルト締めして完了です。

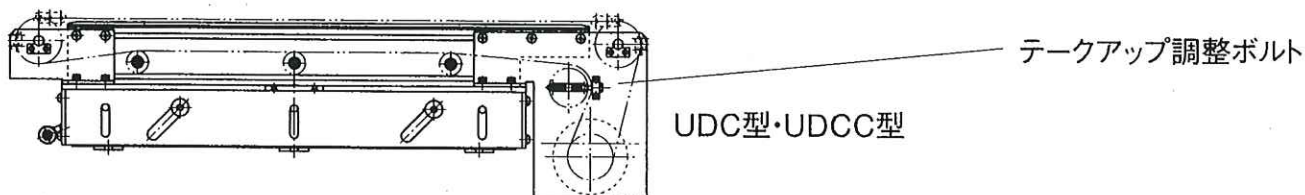
アップベースドライブユニット点検、メンテナンス

アップベースドライブユニット点検、メンテナンス

日常点検

- 振動、異音の発生 → チェーンの伸びが発生 → チェーンを張ってください。
- ベルトがスリップ → ベルトの伸びが発生 → ベルトを張ってください。

チェーン・ベルトの伸び調整方法(下図のテークアップボルトにて調整してください。)



- モータの過熱 → モータ容量オーバー → 電流値を測定して定格値をオーバーしているときはメーカーに連絡してください。
- ボルト、ナットの緩みはないか → 緩みを確認 → ボルト、ナットを増締めしてください。

アップベースドライブユニット点検、メンテナンス

アップベースドライブユニット点検、メンテナンス

定期点検 点検目安 — 6ヶ月ごと(1日8時間一様な負荷とします)

- チェーンへの給油 → 潤滑油をさす。
- チェーンの張り具合 → 長時間使用するとチェーンの伸びが生じます。
チェーンの張り調整を行ってください。
但し、張りすぎますとモータに負荷がかかりますのでご注意ください。

メンテナンス

- チェーンは使用始めに初期伸びが生じ、その後摩耗により伸びが増加します。
目安として呼称ピッチの2%以上伸びが生じた場合は取替えてください。
又、ラムダチェーン使用型は0.5%を目安としてください。